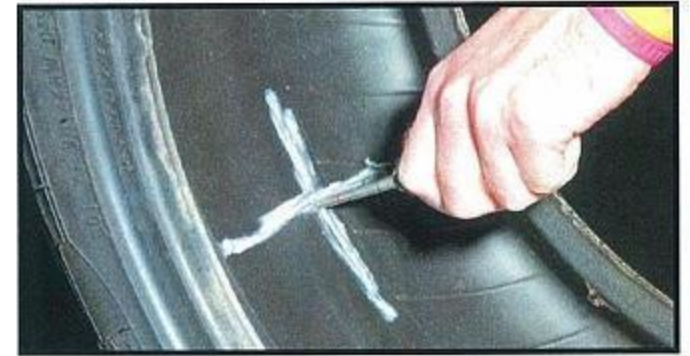
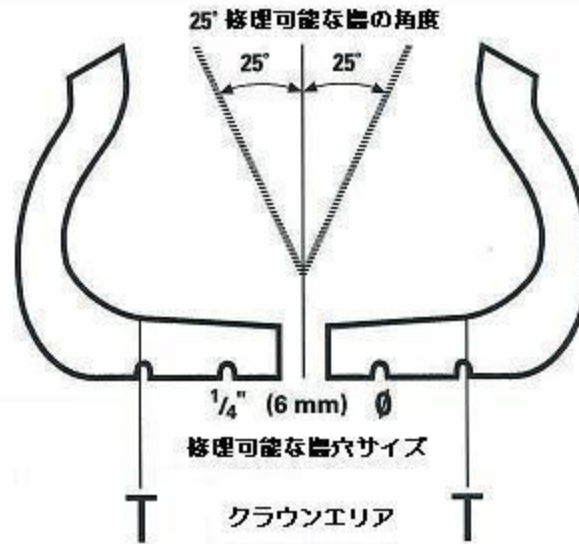


# クイルシールの使用方法

## Instructions for Quill Seal

- 注意事項**
- ①安全作業のためにゴーグル（安全メガネ）、防塵マスク、手袋を使用して下さい。
  - ②セメント作業の際は、換気の良い場所にて作業してください。
  - ③変形した工具類の使用はしないでください。
  - ④テック社以外のセメントを使用しないで下さい。本来の修理性能、品質が得られない事があります。
  - ⑤作業している近くでは、禁煙を厳守してください。
  - ⑥セメントは、本来の用途以外に使用しないでください。
- △警告**

乗用車用タイヤの修理可能範囲について  
修理可能な傷は、6mmまでとなります。また修理可能エリアは、下記のT-T内となります。



- 1.** タイヤをホイールからはずして、タイヤ内部を点検します。
- 下記の状態のタイヤは、修理できません。
1. 空気圧の低い状態で走った形跡のあるタイヤ
  2. セパレーションを起こしているタイヤ
  3. スリップサインの出ているタイヤ
  4. コード及びスチール等が露出しているタイヤ
  5. ビード部分に損傷のあるタイヤ
  6. オゾンクラックのあるタイヤ
  7. 衝撃によるダメージのあるタイヤ



- 2.**
- ①704（パuffer液）または704A（スプレーパuffer）を使用して、傷口中心に塗付します。
  - ②933スクレパーを使用して塗付した周辺の汚れ、シリコンを完全に除去します。
  - ③これを2~3回繰り返します。



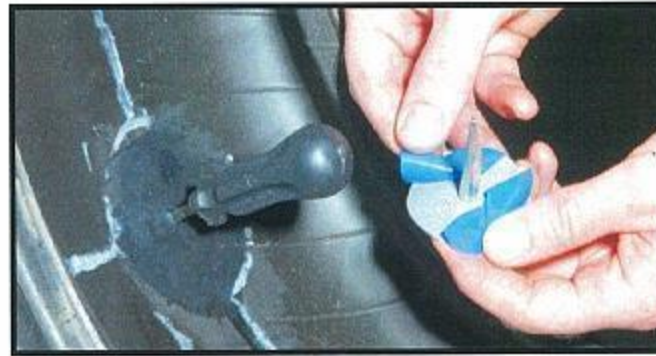
- 3.**
- ①低回転1500rpmのドリル、エアパuffer等を使用して下さい。
  - ②傷口を中心に236Jの直径よりも若干大きめにパufferします。



- 4.**
- ①ファイバブラシを使用して、先程パufferした面を再度軽くパufferしてください。
  - ②パuffer面のパufferダストを除去します。この時、パuffer等をパufferエリアに接触させないように注意します。



- 5.**
- ①780ケミカルセメントを915スパイラルツールに塗付して、傷口に十分セメントを入れてください。
  - ②この作業を3~5回繰り返して、最後は、スパイラルツールを傷口に挿した状態にしておいてください。
- ※この工程は、非常に重要です。



- 6.**
- ①裏の青いポリを剥がして上の写真のように、セットします。（グレーの部分に触れないようにするためです。）
  - ②クイルシールを持つときには、青いポリの部分を持ち、グレーの部分に直接、触れないようにします。



- 7.**
- ①クイルシールをタイヤ内側から押し、表側に出た部分を引っ張ります。
  - ②クイルシールのパッチ部分が、しっかりタイヤ内側インナーライナー部についていることを確認してください。



- 8.**
- ①936ステッチャーローラーをセンターから外側に向かって掛けます。
  - ②途中で青いポリを取り除き、再度、しっかり掛けてください。
  - ③最後にクリアポリを取り除きます。



- 9.**
- ①外側に出ている部分をカットします。
  - ②この時、3mm程度残してカットしてください。



- 10.**
- ①修理完了です。
  - ②タイヤにセットして再度、最終確認をしてください。